

AICHI GAKUIN UNIVERSITY NEWSLETTER



AG PRESS

大学だより

2024

3

学位授与を祝して / 卒業生へ贈る言葉
就職活動体験記 / AG NEWS FILE / 後援会レポート

vol.226

[特集]

歯学部 NEW CAMPUS LIFE



location: カフェテリア(楠元キャンパス)



令和5年度

学位授与を祝して

勝つことだけが生きがいではない



愛知学院大学 学長

愛知学院大学短期大学部 学長

引田 弘道

“三種の布施の精神”で
共に助け合う社会を
実現できる人に

2024年元旦16時10分、マグニチュード7.6の地震が石川県能登地方を襲いました。亡くなられた方は1月15日時点で災害関連死を含め222人、安否不明の方は22人となっています。痛ましい災害です。心よりお見舞い申し上げます。日本は地震の多発する国です。2016年の熊本地震では211人の方が亡くなり、2011年の東日本大震災では1万5千人を超える方が、地震と直後に襲った津波に呑み込まれ亡くなりました。およそ5年に一度の割合で痛ましい災害が起きていることになります。自然災害は地震だけではありません

ん。地球温暖化に伴い、線状降水帯により限られた地域に膨大な雨が集中して降り、多くの犠牲者や避難者が出ています。

これほど災害の多発する国は世界中を見回してもありません。このような過酷な環境で暮らさざるを得ない私たちには、互いに助け合う「共助の精神」が大切でしょう。国が私たちを保護する責任を担っているのは当然ですが、私たち自身も困っている他者に寄り添い、援助する姿勢を忘れてはなりません。最近では積極的な寄付や、災害現場で活動する多くのボランティアの方々の姿を映像で見受けるようになりました。素晴らしいことだと思います。

皆さんは卒業後、否が応でも競争にさらされます。他者との競り合いに打ち勝つことが、皆さんの人生に与えられた試験だとも言えます。しかし、「勝つこと」だけに生きる価値を見出すのではなく、他者と喜びや苦しみ分かち合い、多くの人々から信頼され尊敬されることに生きがいを感じるの方が、もっと大切でしょう。

仏教の「布施」には、物や財を与える「財施」、安心・安全を与える「無畏施」、教えを広める「法施」の三種があります。戦後、高度成長に伴い地方から都市への人口流動が起こると、地域共同体が次第に失われていきました。地域社会を補完する会社も職種の多様性により、帰属意識が薄れつつあります。孤独な個人の集合では、社会は機能しなくなってしまうと思います。私たちはもう一度、自分たちが生活する地域に目を配り、大災害が起きたときはもちろんのこと、日頃から住民相互の挨拶や、何気ない会話を心を配り、三種の布施の精神で共に助け合う社会を実現する必要があると思います。

終わりなき

「行学一体、報恩感謝」

皆さん、ご卒業おめでとうございます。理事長の小島泰道でございます。

皆さんは、我が愛知学院の教育理念である「行学一体、報恩感謝」を既に体得されたものと存じますが、ご卒業の花向けとして今一度の理念についてお話をさせていただきます。

『行学一体』…文字通り、「学び」無き「行」は時間の無駄遣いとなりますし、「行い」の伴わない「学び」は机上の空論です。怠惰に過ごさない事は勿論のこと、今後社会で経験されるさまざまな逆境や失敗の最中においても歩みを止めずそこから学ぶ事を忘れないでいただきたいと思えます。『地によって倒るるものは必ず地によりて起く。』『いまの当は、むかしの百不当の力なり』とは道元禪師のお言葉です。その逆境や失敗から目を逸らし歩みを止めれば立ち上がることは出来ませんし、成功には至りません。

『報恩感謝』とは、私たちの存在は全てのご縁のおかげである事を忘れないという意味です。これから皆さんは経済的にも完



学校法人愛知学院
理事長

小島 泰道

全に保護者の助けを借りることなく生活される事と思えます。また、各進路においてさまざまなスキルを身につけ、成長し、ともすると自分の力だけで生きているような錯覚に陥り『自立』した気になるかもしれませんが、しかしそれは全くの勘違いであると予め申し上げておきます。『自立』とは、誰の力も借りず自分の力だけで生きていることではありません。それは『自立』ではなく『孤立』であり人として弱くなることを指します。本心に強い人間の『自立』とは、自分の弱さから目を逸らさず直視し、思い切つて他者の力が借りられるという事です。『自（みずから立つ）』ではなく、より多くの仲間を作り相互に支え合うことにより『自（おのず）から立つ』事ができるよう、『報恩感謝』の心を忘れないでください。苦境から目を逸らしてはいけません、どうしようもなくなった時には一人でなんとかしようと思わず思い切つて人を頼れる『強さ』を身につけていきましょう。

『行学一体、報恩感謝』とは永遠のテーマなのです。

卒業生の皆さんには、大学生活の貴重な時間を過ごすに当たり本学をお選びいただき、共に研鑽できましたこと衷心より感謝致します。

教職員一同、皆さんにとって益々誇れる母校とすべく、在校生へのより良い教育の提供を第一とし、より魅力のある大学づくりを目指して学校運営に邁進して参ります。それがご卒業される皆様への報恩感謝の形であると考えています。

未来はあなたのために

「有言実行」の社会人へ

輝かしい社会に旅立られる皆さん、ご卒業おめでとうございます。学生時代を支えていただきましたご家族の皆さまにも、大学各同窓会を代表して、感謝と衷心よりお慶びを申し上げます。

皆さんの学生生活は、今まで誰も経験したことのない新型コロナウイルスに振り回され、生活も一変しました。しかし、何事にも負けずに頑張る姿こそが学院魂です。未来はあなたのためにあります。

社会人として目標達成していく皆さんに、「有言実行」という言葉を贈ります。目標をはっきりと言葉にし、それに向かう姿を周りの人にも理解していただき、一緒に取り組み、感謝の気持ちを表す。すなわち大学で教えられた「報恩感謝」です。心強い同窓生は全国に約15万人います。これからは皆さんも、その一員。素晴らしい社会人になれることを期待して、お祝いの言葉といたします。



同窓会連絡協議会議長
商経会会長

余語 充伸

プラス思考で

突き進んでください

皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、これまで支えてこられたご家族、関係者の皆さまに對しまして、大学後援会会長として心よりお慶びを申し上げます。

この日を迎えるために、大変な思いで学位取得の準備をしてこられたと思います。丸3年に及ぶコロナ禍の中、これまでとは全く異なる日常生活を送りながら、不断的努力を重ねて研鑽を積み、学位取得という目的を達成された皆さんに、心から敬意を表します。

これから社会に出れば、経験のないこと、考えも及ばないこと、辛いことに出くわし、悩み、くじけそうになることもあるでしょう。そんな時は、今起きていることはこの先の成長のためにあるのだと、プラス思考で前向きに捉え突き進んでください。

皆さんの益々のご活躍と、新しい人生が幸多いものとなることを祈念し、お祝いの言葉といたします。



愛知学院大学後援会
会長

竹内 宗

文学部長



文学部の心

多門 靖容

ご卒業おめでとうございます。皆さんの入学時は、コロナ禍による制約を直に受けたスタートでした。年次が進むに従い状況は変わりましたが、卒業に至るまでの苦労は、他世代に比し大きなものだったと思います。そんな学生時代に培った、工夫する力、耐える力を、卒業後はどうか存分に発揮してください。そして、宗教、思想、歴史、文学、言語、地域、文化に対する知的関心を生涯持ち続けてください。これらの領域に問いを持ち考え続けることは、皆さんの生涯を豊かに、楽しくしてくれると信じています。

健康科学部長



笑顔に満ちた人生を

辰巳 寛

ご卒業おめでとうございます。皆さんは、コロナ禍の大きな試練を乗り越え、今日の佳き日を迎えられました。4年間には辛く厳しいときもあったことでしょう。良くも悪くもすべての経験を通して「真の生きる強さ」を、皆さんは身につけられました。人は逆境のときにこそ笑顔で生き生きすることが大事です。心身科学部で培った人を笑顔にする実践力を信じて、自ら選んだ道を堂々と突き進んでください。諦めずに努力続けることで、必ずその労は報われます。皆さんのご活躍をお祈りしております。

経営学部長



逃げない

平賀 正剛

「楽あれば苦あり」の言葉通り、人生に困難はつきものです。難問に直面すると、人は誰でも「自分の手に負えるだろうか」と不安になります。そんなときこそ、この4年間のさまざまな体験を思い出してください。例えば、卒論。誰もが「自分に書けるだろうか」不安になったはずですが、皆さんはそれを乗り越えて、今ここにいます。次の困難もきっと乗り越えられるはず。それは根拠のない自信かもしれませんが、一度逃げたら、次に立ち向かう自信は得られません。「逃げない」—この言葉を贈ります。

法学部長



失敗する権利

飯野 賢一

皆さん、ご卒業おめでとうございます。「人間には人生に失敗する権利がある」(映画『アメリ』)という言葉があります。人間は完璧でないため、誰にでも失敗する可能性があります。しかし、失敗は必ずしも悪いものではありません。失敗は価値ある経験であり、そこから学べるものは多いはずです。自分は「失敗する権利」を持っているのだから、失敗してもいい。そう考えることができれば、挑戦に対するハードルも下がります。この権利をうまく生かし、社会で活躍されることを切に願っています。

心理学部長



引き出しを増やして柔軟に対処

高木 浩人

皆さん、ご卒業おめでとうございます。当たり前のことがそうでなくなったり、揺るぎないと思われていたものに綻びが生じたり、信じるに足るもの、間違いなく頼れるものを見つけにくい時代です。そんな中、社会に漕ぎ出す皆さんを何が待ち受けているのか、誰にもわかりません。適切な助言が得られないことも多いでしょう。そんなときは自分で何とかするしかありません。その覚悟が必要です。とは言え、真っ向勝負ばかりでは疲れてしまいます。どうか引き出しを増やして、柔軟に対処していきましょう。

商学部長



困難にもポジティブな心で

吉田 聡

ご卒業おめでとうございます。皆さんの学生生活は多くがイレギュラーなものだったかと思います。入学式の中止、入学直後から始まったオンライン授業、課外活動の自粛などで学生生活を楽しむ機会がかなり制限されました。しかしながら、皆さんはこれらを乗り越えながら頑張ってきました。これからの人生でも想定外の困難なことが起こるかもしれませんが、学生生活での経験をポジティブにとらえて乗り越えてください。母校はいつまでも皆さんを見守っています。今後のご健康とご活躍をお祈りいたします。

経済学部長



「内なる花」を咲かせよう

吉田 雅彦

ご卒業おめでとうございます。義務教育から続いた長い学業生活からやっと解放され、胸を撫で下ろしていることでしょう。人は誰も「内なる花」を持っているものです。これから社会人になってさまざまな困難に直面し、自分はどのような姿や形を持っているのか、惑わされると思います。自分は何になるのか、どんな色がいいのか、長い人生の中で探してください。そして自分の持つ「内なる花」を咲かせてください。いつか笑顔でお会いできる日を楽しみにしています。これからのご活躍を期待します。

卒業生へ
贈る言葉

Message to Graduate

各学部の先生方から卒業生へのメッセージです。

薬学部長



変化に柔軟に対応し活躍を!

安池 修之

ご卒業おめでとうございます。在学中は感染症の流行で大変な状況が続きました。しかし皆さんは、その厳しい状況に立ち向かい成長しました。薬学部で培った知識・技能・態度、そして仲間との絆は、これからの新たなステージで大いに役立つことと思います。これまでの学びと経験を胸に、社会での挑戦に向けて自信と勇気を持って前進していきましょう。医療をはじめ社会の環境は日々変化していきます。変化に柔軟に対応できる社会人、医療薬学専門人として活躍することを期待しています。

総合政策学部長



自分の道を歩む

杉山 知子

ご卒業おめでとうございます。「行学一体」「報恩感謝」の建学の精神のもと、現代社会の課題発見・解決に向け自己研鑽を重ね、先の見通せないコロナ禍で過ごした大学生活は、皆さんの人生の糧となっていきます。愛知学院大学でのさまざまな出会いやつながりを、今後も大切にしてください。母校はこれからも皆さんに開かれています。そして、知的好奇心やチャレンジ精神を持ち続け、たくましく、勇気をもって自分の道を歩んでください。ご卒業の門出を祝い、今後の活躍を心より祈念します。

歯科衛生学科長



新しい時代を創る 歯科衛生士を目指して

犬飼 順子

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。人々は未曾有の新型コロナウイルス感染症を経験して、より健康に対する関心や期待が高まっています。また近年の社会構造はめまぐるしく変化しており、口腔からの健康づくりを担う歯科衛生士の役割は、人々にとってさらに重要になっていきます。その社会に生き、歯科保健の新しい時代を創るのは皆さんです。特に全国的に数の少ない短大・大学卒の歯科衛生士は、現場のリーダーとなることが期待されています。皆さんのこれからの活躍を祈念しています。

歯学部長



大規模災害時の 歯科医師の責務!

本田 雅規

ご卒業おめでとうございます。元旦に発生した大規模災害から、皆さんは何を学びましたか? 歯科医師の責務を考える機会にしましょう。災害時において歯科医師は、避難所で被災者の口腔の健康維持を守ることが出来ます。身元確認の作業に従事することもあります。いずれも、多職種連携のもとで歯科医師としての専門性を生かす重要な役割です。歯科は災害時においてもなくてはならず、社会に大いに貢献できる職業。皆さんが歯科医師として人のために役立つ日は、すぐそこです。頑張ってください。

令和5年度表彰者

●管長賞

宗教学科	花田陽佳里
歴史学科	岩本亜弓
英語英米文化学科	迫屋理子
日本文化学科	佐溝千明
グローバル英語学科	坪井萌花
心理学科	石上陽大
健康科学科	成生茜
健康栄養学科	駒野由依
商学科	市川鮎菜
経営学科	服部沙南
経済学科	平部結衣
現代社会学科	小久保知奈
総合政策学科	田中彩歌
医療薬学科	山本牙子
歯学	中村佳純
歯科衛生学科	渡邊千花

●初代学長小出有三賞

宗教学科	山口 覚永
歴史学科	土田 怜奈
英語英米文化学科	山本 真由
日本文化学科	山田 穂乃花
グローバル英語学科	櫻井 俊希
心理学科	鈴木 捺稀
健康科学科	山本 あゆ美
健康栄養学科	山田 愛純
商学科	中澤 優香
経営学科	阿知和里
経済学科	小林 航大
現代社会学科	味岡 若奈
総合政策学科	伊藤 菜々美
医療薬学科	佐々木 暖奈
歯学	朝比奈 遥
歯科衛生学科	末廣 明日香

●学長賞

宗教学科	高木 佑菜
歴史学科	伊藤 優生
英語英米文化学科	堀田 歩里
日本文化学科	金丸 来未
グローバル英語学科	中川 雄太
心理学科	寶山 桂
健康科学科	中野 亜美
健康栄養学科	小柳 明奈
商学科	YUUBAO 乃紀
経営学科	横山 光紀
経済学科	立松 乃萌
現代社会学科	磯村 詩音
総合政策学科	西村 若葉
医療薬学科	浅井 美玲奈
歯学	山本 桂名
歯科衛生学科	永縄 桃佳
専攻科	高木 海藍
酒井 美華	

●医療薬学科 臨床実務実習優秀賞

山瀬 寛大	細江 昂誠
浅井 結貴	飛田 愛菜
金原 美周	

●歯学科臨床実習優秀賞

立木 和	溝上 理子
西川 千景	梶原 大誠
柴田 真由	

●歯科衛生学科 臨床実習優秀賞

丹羽 風香	三浦 うた
-------	-------

就職活動体験記

今春、社会人としてスタートする学生に就職活動を振り返ってもらいました。

心身科学部

(現:健康科学部)



**専門的な学びが
目標設定と企業研究につながった**

寺西 航志郎

内定先 株式会社伊藤園

食品メーカーの開発職を目指したのは、食を通して人々の健康に貢献したいと考えたから。2年次に学生レシピコンテストに参加したことで、商品開発への興味が高まりました。さらに具体的な目標が定まったのは「口腔機能論」で、嚥下食について学んだのがきっかけ。嚥下機能食品の開発に携わることを視野に、企業研究を始めました。学科の先生もキャリアセンターの方も、とにかく親切で手厚いのが愛知学院大学の就活支援。困ったことがあればすぐに相談・解決できたことが、大手飲料メーカーの内定につながりました。入社後は嚥下機能食品を強化してヒット商品を生み出し、お世話になった方々に恩返ししたいです。

文学部



**客室乗務員に必要な要素が
学びを通して身についた**

永戸 茉弥

内定先 日本航空株式会社

特に役立った授業は、航空業界の専門知識が身につく「観光実務論」です。客室乗務員に求められる人材像を学び、航空会社の面接で生かせたと思います。語学力も向上でき、TOEIC745点取得につながりました。ゼミでは、空港地上業務サービス企業でのインターンシップを経験。空港業務への理解を深めた上、広い視野と主体的に行動する力が身につきました。就職活動で役立ったのは、キャリアセンターでの面接練習。入退室や挨拶の仕方などマナーを詳しく教えていただき自信を持てたことが、良い結果につながったと思います。今後は、お客様の尊い命をお預かりする業務を通し、自分自身も成長したいと考えています。

経営学部



**実践科目の充実が
就職の強さに直結**

大沢 革斗

内定先 株式会社大垣共立銀行

経営学の理論を広く深く学ぶこと、また実践を重視した科目が充実しているのが、愛知学院大学の経営学部の特徴です。実践に強いということは、就職にも強いということ。将来を考える上でも有益だと考え、入学を決めました。特に役立ったのは、「管理会計」。投資家の評価方法を学び、企業の数字を読むようになりました。また、ゼミナール大会での発表に向け企業を取材したことも良い経験です。企業活動の研究を通し、多様な視点が生身についたと思います。こうした実践的な学びから得た知識やスキルは、就職活動に不可欠な企業研究にも生かすことができ、興味を持っていた銀行からの内定獲得にいたりしました。

商学部



**資産運用や株価の知識を
証券会社で生かしたい**

河合 麗香

内定先 野村證券株式会社

愛知県でも珍しい商学部で、経営と経済を両立して深く学ぶことができました。証券会社への就職を目指していたため、ゼミでは東証の市場区分について研究。仲間たちとのグループワークを通してプロジェクトをやり遂げることの大切さを学び、成長できたと思います。「会計学」で財務諸表を学んだことから、卒業論文ではIFRS(国際会計基準)を研究。学科の先生方は、論文執筆から就職活動まで、あらゆるサポートをしてくださいました。また、いつも親身に寄り添ってくれたキャリアセンターの方にも感謝しています。就職する大手証券会社では、大学で身につけた企業の資産運用や株価に関する知識を生かせそうです。

法学部



**就活を乗り越えられたのは
キャリアセンターがあったから**

多田 有里

内定先 東海旅客鉄道株式会社

現代社会で起きている問題に関連した法律を学べるのが、愛知学院大学法学部の魅力です。学びを通してさまざまな時事問題に興味を持つようになり、仲間と話し合い考察することで視野を広げることができました。企業法などを学ぶゼミでは、業界や企業の動向など就職活動に生かせる知識・情報を得られたほか、社会人としての心構えを持てたと思います。就活を乗り越えられたのは、キャリアセンターのおかげです。エントリーシートの添削や面接練習だけでなく、メンタル面でのサポートも心強かったです。今後は鉄道会社の社員として、皆さまの当たり前を支えつつ、毎日の元気を届ける存在になりたいと考えています。

経済学部



**キャリアセンターのサポートで
遅い就活スタートでも大手に合格**

渡邊 裕斗

内定先 はごろもフーズ株式会社

就職活動を本格的に始めたのは、3年生の2月。それまで大学の就職活動説明会やインターンシップに参加したことがなく、就活に対する知識や企業情報もほとんど持っていませんでした。そこで頼りにしたのが、キャリアセンターです。就活の手順や必要な対策を教えてもらったほか、エントリーシート添削など具体的なサポートもしていただきました。何よりありがたかったのが、スタートに出遅れた私の目標を否定せず応援してくれたことです。おかげでモチベーションを保つことができ、志望した複数の大手食品会社から内定をいただくことができました。今後は仕事にもプライベートにも本気で取り組み、充実した人生を送っていきたいです。

卒業生の主な就職内定先

一覧はホームページをご覧ください▶

<https://navi.agu.ac.jp/career/naitei/>



公務員・教員に内定

国家公務員



**過去問演習のおかげで
公務員試験の重要科目が得意に**

梶野 歩夢 法学部 法律学科

内定先 名古屋地方検察庁(検察事務官)

説明会や官庁訪問に参加して業務や職場の雰囲気を知り、仕事を通して社会正義の実現に貢献したいと思うようになり、検察事務官を志望しました。公務員試験対策に役立ったのは「法職演習」。重要科目のひとつである「行政法」の過去問演習を通し、試験の頻出分野や難しい箇所について丁寧に解説していただきました。おかげで「行政法」が得意科目になり、試験本番での高得点につながったと思います。また、公務員合格体験報告会や公務員志望者向けの面接対策セミナーでは、試験対策に生かせる具体的な情報を得ることができました。今後は業務に尽力し、被害者に寄り添える検察事務官になりたいです。

地方公務員



**面接対策講座で
自分の強みを明確にできた**

大森 咲歩 文学部 日本文化学科

内定先 名古屋市役所(行政職)

キャリア支援講座が豊富で、自分に合った業種・職種探しから面接対策まで、就活の各段階に適した支援を受けられました。特に面接に関しては、キャリアセンターの職員の方による模擬面接はもちろん、ハローワークや公務員予備校の方など外部講師による対策講座も充実。場数を踏むことはもちろん、より多くの方から意見をいただくことで、自身のアピールポイントを明確にして試験に挑むことができたと感じています。私が公務員を目指したのは、町の魅力を生かす仕事ができたいと考えたから。文化・芸術・都市性など多様な魅力を持つ名古屋市の運営に携わり、魅力を生かしたまちづくりの一端を担いたいと思っています。

教員



**少人数制の実技教科で
知識・スキルを習得**

蜂須賀 ひより 心身科学部(現:健康科学部) 健康科学科

内定先 愛知県教育委員会(中学校教諭)

保健体育の教員になりたいという思いから、健康科学科を選択。子どもの自己肯定感を高められる教員を理想像とし、中学校教員を目指しました。主体的な行動が盛んになる時期に、子どもたちと関わりたいからです。学科では少人数制の実技教科が充実していて、必要な知識やスキルをしっかりと習得。また、力を入れて取り組んだのが特別支援教育です。スイミングコーチのアルバイトで多動性障害を持つ子どもと出会ったことから、障害について理解しようと心理学科の授業を履修し、特別支援学校の教員免許取得にもつながりました。これから学校現場で、生徒一人ひとりの個性や可能性を認めて伸ばしていきたいです。

総合政策学部



**学内企業説明会から
就活を好発進**

三島 慎乃介

内定先 株式会社十六フィナンシャルグループ

就職活動で好スタートを切れたのは、大学のサポートのおかげです。就職セミナーでは就活の進め方、就活サイトの活用法などを教わりました。また、学内の企業説明会では効率よくさまざまな業界を見ることができ、企業研究が進みました。そして金融業界に憧れを持ち、地元のために働きたいと考えて選んだのは、銀行を中心にした金融グループ。証券やリース、まちおこしなど多様な事業を手がけているため、幅広い仕事に触れられると思ったのです。入社後は、学科の授業で身につけたロジカルシンキングやデータ分析力、ゼミで養った探究心や協働力を発揮し、多くの人に信頼される存在になることを目指します。

薬学部



**薬学部出身ならではの
専門知識を生かせるMR職に**

佐藤 亮太

内定先 日本イーライリリー株式会社

4月から、外資系製薬会社でMR職として働きます。この仕事を選んだきっかけになったのが「薬局・病院実務実習」。臨床現場でさまざまな患者さまからお話を聞き、医療情報提供の重要性を痛感したことから、興味を持ったのです。また「医療薬学実習」では、4年次までに学んだことを実際に医療と結びつけて理解することができました。6年間を通し、講義で得た知識をグループワークや実習に生かしながら、将来の仕事を見据えた学びができたと思います。就職活動では、先輩の就活体験記などの資料が役立ちました。今後は、薬学部出身のMR職としてさらに知識を高め、医師と対等に話し合えるレベルを目指します。

短期大学部



**授業や実習を通して
理想の歯科衛生士像を見つけた**

酒井 美華

内定先 株式会社ジーシー

歯学部附属病院での実習などを通して高いレベルの教育が受けられること、専攻科で学士の学位取得ができることに魅力を感じ、愛知学院大学短期大学部を選択。さまざまな授業や実習で知識・技術を身につけられたのはもちろん、自分が目指す歯科衛生士像を見つけることもできました。就職活動でお世話になったのは、学科の先生。私の特性に合う業界を教えてくださいましたことで新たな視点を獲得することができ、企業選びにつながりました。そして内定したのは、歯科材料・機器の大手メーカー。企業の歯科衛生士ならではの広い視野を持ち、多くの人々の口腔の健康とQOLの維持・向上に貢献できる人材になるのが目標です。

新校舎完成で学生生活が進化!

歯学部 NEW CAMPUS LIFE

臨床教育
研究棟

特集

AG vol.27
REPORT

CHECK!

動画



フロアガイド



詳しい施設紹介は
こちら

2023年8月、末盛キャンパスに「臨床教育研究棟」が完成し、各学年に合わせた教育環境が整った歯学部。最先端のキャンパスで学ぶ5・6年生の充実した学生生活をご紹介します。

歯学部
附属病院
西館



エントランスホール〈1F〉

1日のはじまりは開放感あふれるエントランスホールから。約400名を収容できる講堂やラウンジ、学部事務室も1Fにあります。

12:00
ランチ

月見坂 Terrace

ガラス張りでスタイリッシュな外観が目目をひくランチ・カフェスポット。新校舎と附属病院の間にあり、上空通路でつながっています。



ランチやカフェでリフレッシュ!
お腹も心も満たされます。



10:25
実習

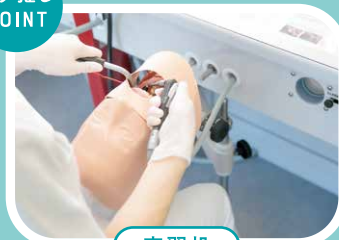
患者さんに寄り添った治療を目指し、最新機器でトレーニング。

シミュレーション 実習室〈3F〉

18台の実習機を設置し、臨床実習のグループごとに使用。より患者さんの目線にたった治療ができるよう、診療の現場を意識したトレーニングをおこなっています。



イチ推し
POINT



実習機

診療現場と同様の環境を再現。歯の切削や歯石除去等が可能な装置をはじめ、最新機器が揃っています。

ここが進化! /

臨床の最前線を感じ、 最新機器で技術向上!

すべての機器が最新で扱いやすく、技術向上に向けて集中できる環境です。病院が近く現場の空気を身近に感じられるため、トレーニングでも自然に現場を意識できるようになりました。

歯学部歯学科5年 渡邊 羽未さん



開放的で寛げる空間!

レストランは定食・丼・麺の3種類の日替わりメニューで、栄養バランスも考えられた食事を楽しめます。さまざまなフェアが開催されるので、気になるメニューをチェックして友人同士で食べに行ったりしています。

歯学部歯学科5年 秋山 仁志さん



イチ推し
POINT

明日も頑張ろう！



月見坂GArDen

キャンパス2Fとつながる緑あふれる心地いい空間で、勉強の合間にホッと一息。

スタイリッシュな空間に、医療系書籍が充実！



月見坂Library〈2F〉

医療系書籍が豊富にあるため、分からないことはすぐに調べることができ、効率良く学習できます。また自習室としても利用できます。

\\〇〇ここが進化！／

自分に合う環境で効果的に学習！

調べものがあるときだけでなく、静かに集中して勉強したいときにはライブラリーを利用しています。会話や飲食ができる場所など多彩な学習環境が用意されていて、気分や用途に合わせて選べるので効果的に学習を進められます。

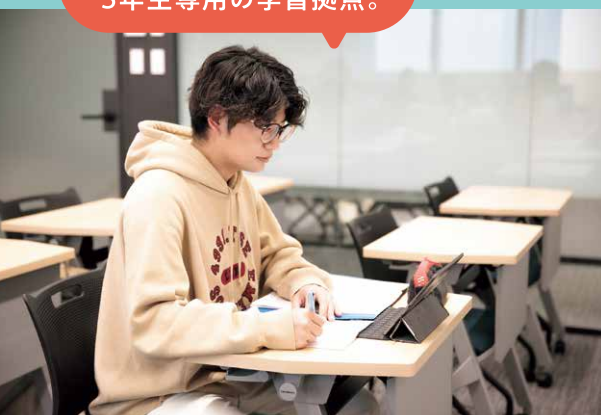
歯学部歯学科5年 赤塚 巧さん



18:00

自習

臨床実習に励む
5年生専用の学習拠点。



セミナー室

〈2-3F〉

臨床実習のグループごとに専用の部屋があり、自習やセミナー形式の授業、臨床実習前のブリーフィングをおこないます。

教員との活発な対話を通して
学びを深める。

学年主任でもある三谷先生とも気軽にディスカッション。質問や相談がしやすい雰囲気です。

15:00

グループワーク

アクティブ
ラーニングスポット

グループワークに最適なスポットも多数。ディスカッションや課題に取り組むなど、積極的な学びの場として活用されています。



ラウンジスペース〈4-6F〉

イチ推し
POINT



ホームベース〈3F〉

個別の学習机が完備された6年生専用の自習室。国家試験合格に向け、仲間と高め合える環境です。

先生との
コミュニケーションが身近に！

新校舎では4-6Fの研究室フロアの中央にテーブルや椅子のあるスペースができるなど、先生とのコミュニケーションの場が増え、疑問点も解消しやすい環境に。多様な専門分野の先生方と交流を深め、将来像を明確にできそうです。

歯学部歯学科5年 青山 聖さん



イチ推し
POINT



ティーチングスポット〈3F〉

6年生の自習室前には可動式の椅子・机・ホワイトボード。人数や目的に合わせてレイアウトできます。

VISION

歯学部
の未来。
学部長に聞く、

歯学教育は、臨床実習開始前の共用試験の公的化など変革期を迎えています。本学部では、この変化を先取りし、学生ファーストの理念に基づいて教育環境やシステムを見直してきました。その象徴が「臨床教育研究棟」です。歯科医療の最前線と一体化したキャンパスに5・6年生の学習拠点と臨床系教員の研究室が共存することで、学生と教員の距離が大幅に縮まり、活発な交流が生まれています。また5年生が研修医の仕事を見学するプログラムなど、新たな取り組みも生まれています。

歯科医療を取り巻く環境も変化しており、今後は地域包括ケアシステムやチーム医療への対応がより重要になってきます。本学部では、総合大学の強みを生かした薬学部等との連携によるIPE(多職種連携)教育や、2026年にリニューアルする附属病院北館を活用した医科歯科連携など積極的に推進していきます。また、歯科医師国家試験「All passプロジェクト」を始動。1年次から一貫したサポート体制で学生を支援し、大学全体で全員合格をめざし取り組んでいます。



本田 雅規 歯学部長

TOPICS

02



2023年11月9日(木)、よさこいサークル常笑のメンバーが近藤裕貴日進市長を訪問。8月25日(金)～8月27日(日)に名古屋市中区で開催された「よさこい真ん中祭り」において、初の「よさこい大賞」を受賞したことを報告しました。代表の鈴木悠真さん(文学部英語英米文化学科3年)は、「今後も日進市の魅力や、常笑から発信して盛り上げていきたいです」と、活動を通して地域活性化に貢献したいという思いを力強く述べてくれました。

「よさこいサークル常笑」日進市を訪問 にっぽんど真ん中祭り「大賞」を報告

TOPICS

01



1月10日(水)、日進キャンパスにおいて大学後援会主催の「令和5年度クラブ優勝祝賀会」がおこなわれました。引田弘道学長、浅田浩司後援会副会長、高木敬一学生部長による激励と労いの言葉に対し、クラブ学生を代表して謝辞を述べたのは、よさこいサークル常笑の伊藤颯良さん(心身科学部健康科学科2年)。また、会の司会進行はアメリカカンファクトボール部の加藤沙弥香さん(文学部英語英米文化学科3年)が務め、和太鼓クラブAGU丸座の演舞が会場を盛り上げました。最後には、昨年4月からこれまでの活動において顕著な成績を収めた23のクラブと個人56名に表彰状と記念品が贈られ、活躍を讃える温かい雰囲気の中で閉会。クラブ学生の皆さんの、今後の益々のご活躍を期待します。

令和5年度「クラブ優勝祝賀会」を開催

TOPICS

04

「全社長の出身大学」調査で
 本学が全国18位・愛知県1位

2023年12月4日(月)、東京商工リサーチが発表した「2023年」全国社長の出身大学「調査」において、本学出身の社長数が2657名となり、昨年に続き全国18位にランクイン。また「2023年都道府県別(企業所在地)社長の最多出身大学」でも、愛知県1位を獲得しました。

TOPICS

03

健康科学部 下村淳子教授
 既習科目において学修した知識を活用した演習と、事後課題としてのレポート課題を適切に組み合わせ、学生の主体的な学習への取り組みを引き出すアクティブラーニングを展開。これにより、学生が授業外での学習習慣を身につけ、その後の科目の学修にも積極的に取り組んでいくという効果を生み出した。さらには、健康科学科養護教諭コースの教員採用試験合格者数増加にも寄与した。

歯学部 杉田好彦准教授
 Webコンテンツを活用した独自の教育方法を確立。また国家試験対策においては、Formを利用し、口腔病理学に関連する独自の問題や国家試験の過去問を毎日出題。正答率に基づいた適切な解説に加え、誤答した学生に対してはチャットで個別指導するなど、手厚い支援をおこなった。この取り組みにより、昨年度の歯科医師国家試験において、口腔病理関連問題の正答率が全国平均を上回る成果を挙げた。

法学部 尋木真也准教授
 学生のニーズに応じながら、多様な視点から時事問題を考えさせる授業を展開。講義では、視覚資料を用いて学生の関心と集中力を引き出しながら、多角的な視座から専門的検討を加えて教育効果を向上させた。演習では、研究成果を学外で発表する機会を設け、学生の意欲を喚起。これらにより、学生が視野を広げ、調査・発表を通して主体的に学修し、社会性をも涵養していく教育を実現した。

2023年度「教育優秀賞」
 3名の教員を表彰

2023年12月6日(水)、日進キャンパスで2023年度の教育優秀賞の表彰式を開催しました。賞の目的は、教育活動において優れた業績を挙げた教員を表彰することにより、本学教育の一層の充実を図ることにあります。選考委員会での厳正な審議を経て、3名の教員に教育優秀賞を授与しました。



(上段左から)下村淳子教授、杉田好彦准教授
 (下段)尋木真也准教授

TOPICS

06

【タイプ3の支援事例】

- 地域と連携した教育課程の編成や社会人の受け入れ、地域の課題解決に向けた研究の推進など、地域の経済・社会、産業、文化等の発展に寄与する取組を支援
- 大学間、自治体・産業界等との連携を進めるためのプラットフォーム形成を通じた、地域と大学等双方の発展に向けた取組を支援

文部科学省が実施する「令和5年度私立大学等改革総合支援事業」の「タイプ3」地域社会の発展への貢献」に、本学が選定されました。（申請校数：265校、選定校数：58校、選定率22%）この事業は、自らの強みや役割の明確化・伸長に向けた改革に全学的・組織的に取り組む大学等を、文部科学省が重点的に支援するものです。今後本学は、社会・地域の課題解決に資する活動を推進し、皆様とのつながりを大切にしながら地域社会の発展に寄与できるよう尽力していきます。

文部科学省 「令和5年度 私立大学等改革総合支援事業」 （タイプ3 地域社会の発展への貢献）に選定

TOPICS

05



商学部4年生の後藤元哉さん（野口ゼミ所属）が2023年度の税理士試験に5科目合格（官報合格）しました。税理士試験は超難関国家試験のひとつで、5科目の試験に合格する必要があります。後藤さんは本学入学後に簿記を学び始め、2022年度の税理士試験で「簿記論」「財務諸表論」「国税徴収法」の3科目に合格。2023年度の税理士試験で「法人税法」「消費税法」に合格しました。その要因となったのは、商学部の講義やゼミでの研究、さらには会計サロン（会計の専門家や資格取得を目指す商学部生の集まり）におけるさまざまな活動です。2023年度の受験者32893名、そのうち大学在学中に5科目合格に達したのはわずか4名（2022年度は合格者なし）でした。快挙を達成した後藤さん、本当におめでとうございます！

商学部生が税理士試験に5科目合格

TOPICS

08



150th

ANNIVERSARY

2026年、愛知学院は創立150年を迎えます。

「愛知学院創立150周年ロゴマーク」が策定

2026年に学校法人愛知学院が創立150周年を迎えるにあたり「愛知学院創立150周年ロゴマーク」が策定されました。今後、ロゴマークは学内外にて広く活用していく予定です。また、2026年の創立150周年に向けて各種事業も展開していきますのでご期待ください。

【ロゴマークコンセプト】

禅における悟りの境地をあらわす「円相」をモチーフにした、強い躍動感やエネルギーを感じさせるシンボルマーク。
「つながりつづける」円相をモチーフとすることで、150周年を契機として新しい愛知学院の姿が形づくられる姿を表現しています。

TOPICS

07



2023年11月1日（水）、日進キャンパスにて教員採用試験に合格した4年生7名による報告会がおこなわれ、教員を志望する1年生～3年生の約60名が参加しました。教員採用試験の内容と対策、詳しい勉強方法などについて合格者が具体的な説明やアドバイスをおこなうと、後輩たちは熱心にメモを取っていました。また印象的だったのは、終了後、後輩の質問に先輩が丁寧に受け答えしている姿が見られたこと。学生たちの意識の高さがうかがえました。

令和5年度「教員採用試験合格者報告会」を開催

【報告事例】

- 学校現場でスクールサポーターとして活動。教員を目指すモチベーションを保ちながら、子どもたちとの接し方を学ぶことができた。
- 教員採用試験の情報をしっかりと収集した上で学習計画を立て、勉強に臨んだ。
- 教職課程では勉強することが多く大変だったが、教員志望の仲間たちと励まし支え合って合格できた。

後援会
レポート

大学後援会は、学生の教育について大学と家庭が連携し、より良い教育を目指すために昭和28年の大学創立と同時に発足しました。「親子入学」と称して後援会を組織し、会員皆様のご子女の学生生活を支援するさまざまな活動をおこなっています。今後も皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

各キャンパスで朝食・夕食のサポート



昨年に引き続き、学生の健康サポートのため大学後援会の助成により特別価格にて食事が提供されました。楠元キャンパスでは、11月13日(月)～12月22日(金)、2024年1月9日(火)～1月19日(金)の間、国家試験に向けて勉学に励む薬学部・歯学部・短期大学部の学生を対象にカフェテリアにて夕食セットを200円で提供。また、日進・名城公園キャンパスでは、5月8日(月)～5月26日(金)、11月13日(月)～12月1日(金)の間、「朝食を食べる習慣」を身につけ生活の基盤が作れるよう、100円モーニングが提供されました。多くの学生が利用し、各キャンパスとも大盛況のまま終わることができました。後援会は来年度も引き続き学生の朝食・夕食のサポートをしています。

学生支援事業について

社会連携センターの活動を助成

学生ボランティア活動や中学生向けのキャンパス体験教育プログラムなど、社会連携センターが実施している社会・地域とつながる活動「シャチ活」に対して、大学後援会が助成しています。

シャチ活とは

社会活動の『シャ』、地域連携そして「知」の『チ』を合わせた『シャチ活』の愛称で愛知学院大学が展開する社会・地域とつながる活動。学生と学外の多様なコミュニティをつなぎ、学生の社会活動、地域の課題解決、社会人教育など数多くのプロジェクトを展開しています。

2023WBC監督 栗山英樹氏による
大学生のための特別講演会を開催

10月29日(日)日進キャンパスにて、2023年WBC優勝監督・栗山英樹氏による講演会を大学後援会の助成のもと開催。「なぜ、チームは世界一になったのか 実践できる目標の建て方挑み方」をテーマに、監督としての工夫や選手との接し方、葛藤などユーモアを交えてお話しいただきました。総合政策学部卒業生の源田壮亮選手(埼玉西武ライオンズ所属)のエピソードの披露や質疑応答もあり、学生にとって貴重な学びの場となりました。



楠元キャンパス食堂の厨房機器導入

大学後援会の助成により、楠元キャンパス食堂にスチームコンベクションが導入されました。これまで大量に作る事ができなかった焼き物メニューを日替わりランチに多く取り入れることが可能になり、メニューの幅が広がったほか、手作りデザートの提供、夕食100食を温かくスムーズに提供できるようになりました。今後は、煮込み料理やデザート類も提供していきます。



学生活動奨励金の授与について

経営学部1年生が「公認会計士試験」に合格

経営学部1年生の三輪美月さんが「令和5年 公認会計士試験」に合格しました。大学在学中、それも1年生での合格は大変珍しく、その快挙を称え、1月25日(木)に名城公園キャンパスにて学長賞授与式が開催されました。式では、浅田後援会副会長から三輪さんに、学生活動奨励金が授与されました。



三輪美月さんコメント

この度は「学長賞」という名誉ある賞をいただき、大変光栄に思います。日々の努力がこのような結果につながり、大変嬉しいです。今回いただいた賞を励みに、これからも一層の努力を重ね、社会に貢献できる人間として活躍していきたいと考えています。ありがとうございました。